

# 令和5年第1回臨時教育委員会会議録

1. 開催日時 令和5年8月2日(水)  
午後1時25分～午後3時50分
2. 開催場所 柏原市役所 2階 多目的室2-1、2-2
3. 出席した委員
- |               |           |
|---------------|-----------|
| 教 育 長         | 新 子 寿 一   |
| 教 育 長 職 務 代 理 | 田 中 保 和   |
| 委 員           | 近 藤 温 子   |
| 委 員           | 西 村 弥 生 子 |
| 委 員           | 太 田 貴 之   |
4. 出席した職員
- |            |           |
|------------|-----------|
| 教 育 監 中平好美 | 指導課長 小室吉昭 |
| 指導主事 川畑雄   | 指導主事 柏山和之 |
| 指導主事 武田真司  | 指導主事 菰池孝彰 |
| 指導主事 片岡洋   | 指導主事 政埜敏男 |

## 5. 議事案件

議案第28号 令和6年度柏原市立小学校使用教科用図書の採択について

## 6. 報告事項

## 7. 会議録の承認及び会議の要旨

新子教育長：それでは、令和5年第1回臨時教育委員会会議を開催いたします。本日の会議録署名は、西村委員でございます。よろしくお願いたします。本日の議案であります、先日の第7回定例教育委員会会議に引き続きまして、議案第28号令和6年度柏原市立小学校使用教科用図書の採択につきまして、本日は、生活以下国語・書写・英語・保健の順で審議をしてみたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。まず、この会議につきまして、公開につきましては、採択結果は本日、議事録の公開につきましては9月1日以降と考えておりますが、よろしいでしょうか。

委員全員：はい。

新子教育長：はい。ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。

よろしくお願いたします。それではまず事務局の方から各者につきまして、説明をお願いたします。まずは生活。川畑指導主事、どうぞよろしくお願いたします。

川畑指導主事：それでは、生活について説明いたします。生活につきましては、東京書籍、

大日本図書、学校図書、教育出版、光村図書、啓林館、信州教育出版社の全部で7者で  
ございます。そのうち、信州教育出版社を除く6者から見本本の送付がありました。

まず、「目標、内容の取扱い」についてですが、全者ともに生活科の目標を達成するた  
めに、適切な内容が取りあげられています。

特徴的なものとしては啓林館の(上)4から12ページの左端をご覧ください。調査員か  
らは「单元ごとに『わくわく』(導入)・『いきいき』(主な活動)・『ぐんぐん』(振り返り)  
の3段階で構成されており、主体的・対話的で深い学びがしやすい構成になっている」と  
いう報告が上がっています。

次に「発達段階への考慮」です。大阪府の選定資料によりますと、各者とも、文章の記  
述や分量、また写真等の資料について、児童の興味関心を引くような工夫があり、児童の  
発達段階に考慮されています。特徴的なものとしては、光村図書(上)の表紙や、81ペ  
ージをご覧ください。表紙や挿絵には絵本作家のヨシタケシンスケさんの絵が使われてお  
り、調査員や学校、部会からは「なじみのあるヨシタケシンスケさんの絵なので、児童は  
喜ぶだろう」「親しみやすい」「読みたくなる」という趣旨の意見が上がっていますが、一  
方で、「教科書の絵として掲載されるのは良いのか」や「イラストの字体に特徴があるの  
で、正しい字の方が良いのでは」といった主旨の意見もあります。

次に「組織・配列」についてです。特徴的なものとしては、啓林館(下)39ページと5  
2ページをご覧ください。39ページでは「町の様子を絵地図に整理したりする活動など、  
社会科へのつながりが意識されている」、52ページでは「栽培活動や飼育活動などで生  
命の連続性を扱い、理科へのつながりが意識されている」といった3年生以降の教科への  
つながりについて、調査員から報告が上がっています。

次に「学び方の工夫」についてです。啓林館(上)のもくじをご覧ください。調査員からは  
「『びっくりずかん』『かくしゅうずかん』『デジタルたんけんブック』など、使用者に応  
じて重点的な活動や発展的な活動に使い易い工夫がされている。」という報告が上がっ  
ており、さらに「デジタルたんけんブック」に関しては、調査員・部会・学校から、「動画  
だけでなく聞くことができよい」「タブレットを効果的に使用できる」といった趣旨の  
意見が上がっております。教育出版に関しては、(上)の41ページをご覧ください。調査  
員からは「『わくわくスイッチ』が面白い。みんなで同じことを学習するが、一人ひとり  
(個人)に対応した言葉がけになる」という報告が上がっており、同様に部会・学校からも  
「わくわくスイッチが面白い」「興味がわく」「自分の課題がわかる」といった発言があ  
りました。続いて東京書籍(上)の42、43ページと66、67ページを見比べて下さい。  
「同じ場所における季節の変化や植物の変化を見比べることができるよう工夫されてお  
り、適切」との報告が学校より上がっております。学校図書(上)26ページから45ペ  
ージをご覧ください。ここではあさがおの成長について18ページをかけて紹介されてお  
り、調査員や学校からは「1年生でよく取り扱うアサガオについて、大きく写真が載って  
いて、成長が分かりやすい」といった趣旨の意見が上がっていますが、一方で「ほかの植物の情  
報がないことも気になる」という意見もあります。

次に「補充的な学習・発展的な学習」についてです。大日本図書(上)33ページをご覧

ください。大阪府選定資料には「学習や生活を振り返り、生活上必要な技能の習得を確かなものにするため、上巻に『きもちマーク』が設けられている」と書かれています。つづいて光村図書(上)最後の厚紙部「はるのなかまたち」から「ふゆのなかまたち」までをご覧ください。ここは、切り離して使用できます。これについて、部会・学校からは「外での活動に使いやすそう」という趣旨の意見の他、「野外観察時に持ち運ぶのには良いが、その後の保管について難があり、一長一短か」という趣旨の意見も上がっています。

次に「幼小中一貫教育の観点」についてです。啓林館(上)の最初、「すたあとぶっく」をご覧ください。大阪府選定資料には「各教科等を意識した入学当初の活動が、イラストや写真で示されている。なお『幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿』の記載がある」と書かれています。調査員からは「入学前のふり返りをしながら、小学校での学びにつながる内容となっている」という報告が上がっています。また、東京書籍(上)の最初「がっこうせいかつすたあと」をご覧ください。こちら大阪府選定資料には、先ほどと同様の記述があります。学校からは「幼児期の育ちを活かした活動ができるようになっていく。」という報告が上がっています。

最後に、選定委員会での審議について報告します。教育出版に関しては、「アサガオの観察について、写真などで生長をとらえやすい工夫がされている」という趣旨の意見がありました。光村図書に関しては、「イラストが良いが、付属する文字が手書きで、学校で教える文字と違うのはどうか」という趣旨の意見がありました。啓林館に関しては、教科書サイズはコンパクトだが、情報量としては十分で、文字が大きく、写真も見やすいという趣旨の意見がありました。また、(上)60、61ページをご覧ください。社会や理科へのつながりについては前述しましたが、ここにあるような「他教科との関連が明記されていて良い」という意見も出ました。これらを総合し、柏原市の教育にあっているのではないかという意見が出ていました。東京書籍に関しては、前述の「季節の比較が子どもの興味を引く」という意見や、(上)28ページからの植物の観察について、「ページ左端に植物の生長について、比較しやすい工夫がされている」という意見など、肯定的意見が多数あがっておりました。以上で、生活についての説明を終わります。

新子教育長：ありがとうございました。6者について、担当の方から説明ございましたが、いかがでしょうか。はい、田中委員お願いします。

田中委員：今説明された中にもあったんですけども、まず一つ目。啓林館なんですけども、「わくわく」それから「いきいき」「ぐんぐん」ですかね。学習の進め方について、段階的にうまくまとめてあると思います。それから「びっくり図鑑」とか「学習図鑑」。特に「学習図鑑」の中で、気持ちを伝えようとか、普段の約束なんかが入っていて、これからの防災も含めて、なかなか良いと思いました。また、先ほどもありましたように、「学校大好き1年生」というところで、幼稚園あるいは保育園から入ってきた時に、ずっと小学生になれるかなという、そういったところも含めて、なかなか良いかなという風になります。

次に東京書籍なんですけども、こちらの方も、「かつどうべんりてちょう」、(上)も(下)もあるんですけども、その中に「安全にくらそう」とか「なかよくなるう」とかこれから

子どもたちが友だちを作るのに必要なところをわかりやすく書いているのがいいかなという風に思います。私の方ではこの2者という風に考えております。

新子教育長：はい、ありがとうございます。はい、近藤委員お願いします。

近藤委員：啓林館ですが、花の成長の様子に使われている写真が、特長や細部が分かりやすいです。生き物や花の成長や季節の違いを見比べやすい配置がされていました。「デジタルたんけんブック」が充実しています。巻末にある学習図鑑も詳しくて良かったです。東京書籍。花の生長のページは比べやすく工夫されていました。虫の育て方や遊びのページが興味をひきます。イラストの色合いが優しいのもいいです。教育出版。キャラクターのこんがらがうちの案内で、楽しく学べそうです。生き物の出てくる種類が多く、約束の欄には注意が必要な生き物や植物も載せられていました。以上の3つがふさわしいのではないかなと考えています。

新子教育長：はい、ありがとうございます。西村委員お願いします。

西村委員：重複するかもしれませんが、啓林館は、サイズ感が一番小さいので、持ち運びには便利だなと思いました。あと、色も見やすく、写真もわかりやすく、全体の邪魔をしない配置になっていたと思います。東書もやさしいイラストになっていましたし、先ほどの植物の生長のページを見ても興味深く、こちらは大きいサイズですけれども、工夫がたくさんあって、生き物図鑑など工夫がたくさんあると思いました。光村図書はとにかく挿絵が可愛くて、親に人気が出そうな感じがしました。あと、生活時間、生活辞典、付録みたいになっているのも、これは、持ち運びの問題はあるかもしれませんが、きれいで楽しいと思います。写真も多いと思いました。教育出版のキャラクターがちょっと独特なんですけれども、見開きを開いて見入る子どもたちも多いのかなと思ったり、ちょっと好き嫌いはあるかもしれないですけども。生活の勉強でワクワクするっていうことがとても大事なかなと思って教科書を見たんですけども、何かそういう仕かけがあるのはいいなあって見ていました。全体的なバランスを考えると、今も使っていると思いますけれども、啓林館が一番いいのかなという風に思っています。以上です。

新子教育長：はい、ありがとうございます。はい、太田委員お願いします。

太田委員：はい、重なる点があるかも分からないですけども、順番に印象を言わせてもらいます。東京書籍。どの教科書もそうなんですけども、やはり外国にルーツのある児童や障がいのある児童が登場する。多様な他者との協働に関する教育に配慮されているかなと思いました。見開きがすごく見やすく、内容が精選されてるなど。あと、イラストに時々出てくる授業の様子があるんですけど、机の配置が教員を向いてるだけじゃなくて、いろんな学び方、最近流行りの学び方を取り入れているような机の配置になっているので、そういうところへも工夫されているなと思いました。大きくて見やすいページ構成となっていますし、タイトルが色分けされていて分かりやすいという風に感じました。

大日本図書。先ほども話に出ましたけども、気持ちマークを入れて子どもの気持ちを表すようになっているんですけども。それを子供が記入した後、教員はどういう風にそれに対応するのか。全部の子供の教科書を見てコメントするのか。子どもはただ、その都度その都度書くだけなのか。対応を丁寧にしようと思ったら、時間がかかるし、そのへん

の取り扱いが、ちょっと難しくなる可能性もあるのかなと少し思いました。あと、「やってみよう生活科」という文字が、1年生にしては、文字量が多くて、少し文字が小さく感じました。あと、「学習道具箱」についても情報量が多いので小学生低学年にとっては少し見にくいと感じました。大日本図書の特徴なんですけども、(下)の55ページですかね、柏原市の河内音頭の写真が入っているのはすごく大きいなど。あと同じく、(上)の105ページ。道明寺天満宮が出てきます。やはり子どもたちにとっては、教科書の中に身近なお参りに行ったり、河内音頭を河川敷で踊っておられる様子が写真に出ているというのは、身近な生活につながって、学ぶ意欲にはつながるのですごくいいかなと思いました。

あと、学校図書さんです。表紙が雑然としていて、子どもたちが教科書を手にとった時の印象がちょっと、もうちょっとインパクトがあったりした方がいいのかなと。いろんな写真を載せて構成されているのですが、ちょっと見にくいのかなと。手にとった時の印象っていうのはわりと大事なんじゃないかなと思いました。あと、目次の中に月ごとの目次があるんですけども、子どもたちにとって学ぶ時期がずれたりするので、月と目次の重なり、それが子どもたちにどれほど理解できるのかなという印象を受けました。学校図書の(下)の最初の各地の様子などのイラストが少し見にくいなという印象です。

続きまして教育出版さんです。車いすの子を真ん中にしているページがあったりとか、いろんな立場の子どもが登場してるっていうのは、他の教科書も一緒ですけども、多様性に配慮しているなという印象です。「学びのポケット」やヒントがあるので、子どもたちが理解しやすい構成になっていると思いました。先ほども出ましたが、ワクワクスイッチで興味を持たせているので、学ぶ意欲に繋がるという風に思いました。大きな写真などもサイズを工夫して見やすいですし、イラストと写真をうまく取り入れて、教科書が全体的に見やすくまとまっていると思いますけども、少し文字が小さいのではないかなという風にも感じました。

光村図書です。「せいかつじてん」や写真が別添になっていますので、工夫されているんですけども、子どもたちが別冊をしっかりと管理できるかどうか、切り離してしまった後、管理が疎かになるのではないかなあという点を、ちょっと心配します。教員によっては使にくいなあと思う人もいるかなと感じながら見ていました。家庭で、そういう写真とか別添の部分をうまく役立てたらいいのかなと思いました。目次や見開きの文字が少し小さいなと感じました。「1年生が始まるよ」「わたしの生活マップ」など大きく見えるように工夫されているのですが、これも取り扱いの問題ですけど、教科書の中に折り込みがあるので、1年生で伸ばしたり、まだ畳んだりというのは、わりとできるようで、なんかガチャガチャとなってしまうのかなと思いました。あと、先ほどから話に出ているんですけど、ヨシタケシンスケさんのイラスト、私も手にとった瞬間「おお」と思いましたけども、子どもたちにそれがどれほど伝わるかなというのは、これはもう人によって違ってくるのかなと。図鑑や辞典が工夫されていて、非常に見やすくなってる。光村図書さんは総ページ数は少ないんですけども、全体的に他者の教科書より重くなってるなと思いました。低学年にとってはその重さ、場合によっては80gぐらい違う重さなんですけど、少し負担になるのかなと思います。

啓林館さんです。これもいっしょです。メガネをかけた児童や、外国にルーツのある児童が登場して、中には目の見えにくい方が歩いている、そういう場面が教科書にも出てくるので、そういうのも特徴だなと、多様に配慮されているなと思いました。教科書のサイズが他の社と違うんですけども、情報が精選されていて、1ページごとは見やすく構成されてると感じました。「わくわくタイム」や図鑑など子どもたちの興味を引く工夫がされていて、学ぶ意欲につながると。これは先ほども出ましたが、「わくわく・いきいき・ぐんぐん」の分け方もわかりやすく、児童の理解の推進につながると感じました。個人的な印象ですけども、(下)の教科書は文字が少し小さい箇所が多いんじゃないかなという風に思いました。この啓林館も(上)(下)ともページ数多くて、ページ数比べたら、他の者と70ページぐらい差が出てくると、すごく多いんですけども、季節の図鑑が入っていたり、タイトルが見やすく分かりやすかったり、3年生のステップブックや幼稚園とのつながりが感じられる点が見られて、情報量もそれほど多いとは思いませんでしたし、重さもそれほど重くはありませんでした。あと、小学校前はどうなことをしたかなあなど、就学前との連携がある内容があることも、就学前教育との連携の意図が感じられました。

全体的な印象としては、地図でも話題になったんですけど、柏原市や藤井寺市が出てくるのは、大日本図書はすごくメリットがあるかなと思うんですけども、全体的なニュアンスだとか内容から、啓林館が私も個人的にはいいのかなという風に思いました。後は教育出版、東京書籍かなという印象を受けています。以上です。

新子教育長：はい、ありがとうございます。どの教科書についても、良し悪しというのですかね、感じていただいていることを出させていただきました。東書さん、啓林館、等々が、報告の内容からすれば、どちらかかなと私も思いますけれども。最初の方、担当者からの報告にもありましたようにね、選定委員会も含めた中で、啓林館の方の「わくわく・いきいき・ぐんぐん」の3段階で構成されていて、今言われているような「主体的で対話的で深い学び」、そこに持って行く構成がしやすいというような、そういうようなところもありまして、私もなるほどなという風に感じております。相対的に、皆さんのご意見をお聞きしまして、啓林館ということによろしいでしょうか。

委員全員：はい。

新子教育長：はい、ありがとうございます。そうしましたら、生活は啓林館ということでお願いします。続きまして、理科、柏山指導主事よろしくをお願いします。

柏山指導主事：理科について説明いたします。理科は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、信州教育出版社の6者が発行しております。そのうち、信州教育出版社を除く5者から見本本の送付がありました。

まず、「目標・内容の取扱い」についてです。東京書籍について、6年生の6ページをご覧ください。調査員からは「単元の標題ページに『レッツトライ』を提示し、活動から探求へつなげている」という報告があがっており、柏教研からも同じ趣旨の意見があります。啓林館について、3年生の2、3ページをご覧ください。調査員からは「問題解決の流れが身につくように、巻頭に色や形を工夫したマークを使ってサイクルを示し、単元内でも統一して使っているので、次は何を考えたらいいかのかわかりやすい」という報告があ

がっています。

次に、「人権の取扱い」についてです。教育出版について、3年生の183ページおよび裏表紙をご覧ください。大阪府選定資料には「裏表紙の『理科の安全の手引き』、巻末の『理科室の使い方』で、安全の確保や理科室での活動の配慮事項が示されている」と書かれています。また、柏教研や学校からも「裏表紙の安全の手引きがとてもよい」という意見があります。啓林館について、6年生の8ページをご覧ください。大阪府選定資料には「本文中に、『注意』マーク、『やけど』マーク、『保護眼鏡』マークなどとともに注意事項が示されている」と書かれています。

次に「組織、配列」についてです。東京書籍について、4年生の36ページをご覧ください。調査員からは「単元ごとの『ふりかえろう』がまとめ方のヒントになり、『たしかめよう』で知識のチェックができる」「巻末の『1年間をふりかえろう』で、理科の言葉のふりかえりページがしめされており、自学しやすい」という報告があがっています。啓林館について、6年生の65、66ページをご覧ください。調査員からは「単元ごとの『まとめノート』が、まとめ方のヒントになる」「『確かめよう』で知識のチェックができる」という報告があがっています。学校からも「各単元の最後にまとめノートがある（自習などで使いやすい）」という意見があります。

次に「学び方の工夫」についてです。東京書籍について、5年生の6ページおよび18ページをご覧ください。調査員からは「学ぶまえと学んだあとに同じ問いかけについて考えることで、自分なりの成長を実感できるような工夫がある」という報告があがっています。啓林館について、3年生の80ページをご覧ください。調査員からは「単元の最後にくらしとリンクが配置され、生活とつながりやすい」という報告があがっており、柏教研や学校からも「くらしとリンクが実生活に結びつきやすい」という意見があります。

最後に「補充的な学習・発展的な学習」についてです。大日本図書について、5年生の49ページおよび194ページをご覧ください。調査員からは「『算数科』とのつながりや英語の取入れを意識している」という報告があがっています。学校図書について、全学年の裏表紙をご覧ください。調査員からは「SDGsなど現代の課題に対して資料が掲載されている」という報告があがっています。

続いて、選定委員会の審議について報告いたします。理科室での安全の確保や事故防止について、全者「巻末に内容がまとめられておりわかりやすい」という趣旨の意見がありました。特に、教育出版は裏表紙に『理科の安全の手引き』があり、「今まであまりなかったもので、見やすくて良い」という意見がありました。また、啓林館は注意事項のマークが細かく分類されており、「授業者も注意点を意識しやすい」「『強い光』といったように具体的に記入されている」という意見がありました。次に、全者ともに写真やイラストを多く取り入れ、レイアウトも工夫されており、「理科離れに対応するためにも興味関心がわくようなものになっている」という趣旨の意見がありました。東京書籍について、「課題に向き合う→予想する→観察する→まとめる」といった流れがわかりやすい」という意見がありました。啓林館について、「学習の流れやレイアウトがとてもわかりやすい」「第1印象として啓林館が見やすい」という意見がありました。例えば、顕微鏡の使い方につい

ては、巻末ではなく本文中に記載されており、「先生としては本文中にある方が使いやすい」「ページがあちこちいかずにわかりやすい」「実験の準備物なども右上に記載されていて見やすい」「先生にとって抜け落ちがない」「柏原市の教育にあっているのではないか」という意見が出ていました。以上で説明を終わります。

新子教育長：はい。ありがとうございます。いかがでしょうか。田中委員お願いします。

田中委員：今の説明にもあったんですけども、まず啓林館は、準備するものとか、授業をすすめていく流れがつくりやすいと思い、子どもたちにとっても理解がすすむと思いました。それと、各単元最後のふりかえろうのところで、たしかめよう、もう一度考えてみようの図でさらにすすめていけるところがよかったです。細かいところですけど、注意マークがいろんな種類で書かれてるんで、実験のケガも少ないかと思います。次に東京書籍ですけども、こちらも啓林館と同じで、ふりかえろうたしかめよう考えよう、レッツトライ含めて、探究的な授業のつくり方ができるのではないかと考えております。あと、大日本図書の巻末の1年間のまとめがわかりやすくよかったです。以上、3つについていいのではないかという思いです。

新子教育長：はい、ありがとうございます。近藤委員、お願いします。

近藤委員：東京書籍、本が大きいので、写真が大きく見やすいですが、その分重くなってしまいます。ふりかえろうのページが手書き風で、ノートにまとめる時の参考になります。各学年のプログラミンが使い道とセットなのが良く、デジタルでの使い方もわかりやすかったです。裏表紙に目次があるのがとても便利でした。啓林館、本のサイズが広げたときに全体を見渡すのにちょうどいいです。まとめノートが、単元の要点が一見してよくわかります。自由研究のページの説明が丁寧です。実験の図や結果の表示もわかりやすいです。全体的にシンプルにまとめてあり、要点に目が行く作りになっていると感じます。学校図書、実験に必要なもの、準備のチェックが始めにあるのがいいです。実験観察の最後のわかったことが簡潔でいいです。もっと知りたいがたくさんあり、好奇心をくすぐります。説明が詳しく親切です。裏表紙の目次はやっぱり便利でした。それから表紙がきれいです。この3者がいいのではないかと考えています。

新子教育長：はい、ありがとうございます。西村委員、お願いします。

西村委員：東書さんですけども、まず表紙の各学年すごくインパクトがあって、見開きも非常に理科に対する関心を引き出す工夫がされていると思いました。くらしとリンクして非常に生活と密着している内容に感じましたけれども、書き方が割とシンプルな感じになっていて、文字が少なめのように思ってその分写真が多く入っています。視覚的にわかりやすいけれども、論理的に導くには解説がかなりいるのかなと思いました。

大日本図書も大きいサイズの教科書で、その分写真も大きくてインパクトがあって楽しいと思いましたが、同じ実験を比べたときに、少し結果のまとめ方がわかりにくいかなと、天気の流れをそれぞれ比べたんですけども、結果のまとめ方に対して、例えば東書さんの方がわかりやすいなという印象がありました。

啓林館さんは、生活科からの流れで、サイズ感も一緒ですし、ページの感触も似たような感じというところもありますし、使い慣れているということもあると思います。最初の



導入の思い出そうというところが、どの教科書よりも一番最初のページに出てきているので、まずそこを忘れずに、その下に思い出そうがあって、そこから興味があればQRコードを見てってところに動画がつながるので、まずそこから考え方の形成段階に入っていくのは非常にわかりやすいと思いました。こちらもくらしと非常にリンクしている内容で、理科が苦手な子もそうですけど、理科が得意でもっと学びたい子には、深く知れる内容が、小さめのサイズですけど配色もよく、とてもバランスよく配置されているように感じましたので、啓林館の教科書がいいなと思いました。

新子教育長：はい、ありがとうございました。太田委員、お願いします。

太田委員：東京書籍、話が出ていましたけども、写真なども大きく大胆に使っておられて、色分けされていて見やすいかなと。問題に対して考察してまとめの流れが、子どもたちにもわかりやすいのではないかと。あと、文字がすごく大きくて印象があるんですけども、ここまで大きくする必要はあるのかなと感じました。あと、A4サイズで教科書をつくっておられるというのは、見やすいんですけども、子どもたちの取り扱い、理科は持ち運んだりタブレットと一緒に使ったりするときに、A4サイズがいいのかどうかは、どうなんだろうなあという印象です。あと、ふりかえろうたしかめようかんがえようで、ふりかえりができる内容になっていることはいいのではないかと思います。

大日本図書さんは、たしかめよう、学んだことをいかそうでふりかえりができるのはすごくいいなと。あと、東京書籍さんと同じですけども、非常に教科書が大きくて、写真も大胆なんですけども、大きいのがどうなのかなというのは同じです。

学校図書さんですけども、全体的に文字が小さく読みづらくないかなという印象を受けました。教育出版さんも同じなんですけども、5年生の教科書で、植物の発芽のところで、問題・実験・観察・結論というわけ方をされていて、非常にわかりやすいんですけども、教科書を見たときに、そのわけ方はいいんですけども見にくいなという印象を受けました。

啓林館さんです、全体的に啓林館は見やすいなと思ったんですけど、一部文字が少し小さく感じる箇所がありました。ふりかえろう、まとめノート、たしかめよう、活用しようというのは、單元ごとのふりかえりがしやすい内容になっているように思います。6年の教科書の最後に、自然とともに生きるというテーマがあって、わかりやすく扱っているのかな、これからの未来へ、サステナブルな未来へというタイトルがあったりとか、現代のテーマに取り上げられているのがいいのかなと思います。あと、ワクビットのQRコードからチャレンジ問題に挑戦ですけれども、自分でQRコードを読み取って、学んで自学自習にはつながっていくのかなと思います。全体的には、東京書籍か啓林館のどちらかかなという印象です。以上です。

新子教育長：ありがとうございます。最後、太田委員が言われましたように、東京書籍、啓林館の方でしぼらせてもらってもよいのかなと思っています。聞かせて頂きますと啓林館さんの方、選定委員会等も含めまして、授業の流れの中で顕微鏡の使い方うんぬん、そういったところが非常にスムーズに授業に入っていけるということもありましたし、柏原にはいいと学校側からの意見も含めまして、啓林館さんでよろしいですか。

各委員：はい。

新子教育長：はい、そしたら理科は啓林館ということでお願いいたします。そうしましたら、今2教科終わりましたので、5分休憩を取りたいと思います。

(休憩)

新子教育長：はい、それでは再開します。次、国語、武田指導主事よろしく申し上げます。

武田指導主事：はい、お願いします。国語について説明いたします。国語につきましては、光村図書、東京書籍、教育出版の3者でございます。

まず、「目標、内容の取扱い」についてですが、各者ともに日常生活に必要な国語の特質を理解し適切に使うことができるように、適切な内容が取り扱われています。光村図書2年生下の教科書48ページをご覧ください。部会からは、「おもちゃ作りの単元が、身近な材料になっている」と意見がありました。また、調査員からは「言葉が子どもたちの世界を広げるため、身につけるべき力を明確にし、主体的に学ぶ力を育む、という主旨は、本市の学力向上課題である『言語活動の充実』をめざした授業づくりに適合している」という意見がありました。

次に「人権の取扱い」についてですが、各者とも文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されています。特徴的なものとして、光村図書4年生上の教科書142ページをご覧ください。「SDGsの観点を網羅した読書啓発のページがあり、子どもたちの関心の多様性に応じた学習を進めることができる」という意見が調査員からあがっています。次に、東京書籍1年生下の4ページをご覧ください。「感染症への呼びかけが書かれているが、これからの事を考えると記載はなくていいと思う」との意見が学校からあがっています。

次に「発達段階への考慮」ですが、特徴的なものとして、光村図書の巻末の見開き資料「図をつかって考えよう」について、「発達段階に応じた論理的思考力育成の大きな手掛かりとなり、他教科における情報活用力にも繋がる教材である」との意見が調査員からあがっています。教育出版について「5年生と6年生の教科書が上下分冊になっており、下巻を手にしたとき、新たな気持ちで学習に向かうことが期待でき、また持ち運びしやすい」といった意見が調査員からあがっています。

次に「組織・配列について」ですが、特徴的なものとして、東京書籍3年生上の教科書16ページをご覧ください。「教材の開き扉に学習の流れが示されており、子供たちが単元全体を見通すことができる」との意見が調査員からあがっています。また、教育出版では、表紙にある図書名「ひろがる言葉」の「ひろがる」にちなんだ詩が、表紙の裏に書かれている。これらは、1年生から6年生まで一貫して書かれており、子供たちが新しい教科書を手にとったときのわくわく感と、言葉の広がりを期待することができる」との意見が調査員からあがっています。

次に「学び方の工夫」についてですが、特徴的なものとして、東京書籍3年生上の教科書165ページをご覧ください。「単元でつけた力が巻末の開きページに示されています。次に10ページをご覧ください。各学年の上の巻頭に、ノートの作り方が載っており、

ノート指導に役立てることができる」との意見が調査員からあがっています。また、光村図書4年生下の教科書32ページをご覧ください。「各教材の最後に記載がある『学習』のページには、『見通し』から『振り返り』までが見開き1ページにまとめられており、教師と子どもが単元を通した学びを共有することができる。先生方が、更に授業力をつけるためにも良い」との意見が、調査員からあがっています。

次に「補充的な学習・発展的な学習」についてですが、特徴的なものとして東京書籍1年生上の教科書58ページをご覧ください。「読み方の工夫を動画で見ることができるので、わかりやすい」との意見が調査員からありました。また、光村図書1年生下の教科書98ページをご覧ください。「二次元コードからは練習問題を読み取ることができる。発展的、深い学びにつなぐことができる」との意見が調査員よりあがっています。

次に「幼小中一貫教育の観点」についてですが、各者とも幼児教育との接続や、中学校への学習への接続に配慮した教材となっています。

特徴的なものとして光村図書6年生の教科書の251ページをご覧ください。「『中学校へつなげよう』では、各領域でつきたい力が具体的に書かれており、自分の6年間で身につけた力を確認しながら学びを進めることができる」との報告が調査員よりあがっています。

最後に選定委員会の審議について報告いたします。まず、東京書籍についてです。「巻末の漢字の熟語の紹介は分量が多い」また、「漢字については何年生で習ったのかが分かりやすく、自学しやすい」との意見がありました。続いて教育出版についてです。「4年生下の教科書8ページをご覧ください。『ごんぎつね』では、3者中で唯一撃つ前の挿絵であり、緑の煙がなく指導が難しいのでは」との意見がありました。続いて光村図書についてです。「5年生の教科書227ページをご覧ください。『大造じいさんとガン』では、3者中唯一、『わたし』についての説明が初めにあるので、「大造じいさんが若い時の話である」と分かる」との意見や、「めあてに向かって授業を構成する、教師の指導力が必要ではあるが、定番の教材がもりこまれている」また、「巻末の『分ける・比べる・広げる』が参考になる」との意見があり、柏原市の教育にあっているのではないかという意見が出ました。以上で、国語についての説明を終わります。

新子教育長：ありがとうございます。それではいかがでしょうか。田中委員お願いします。

田中委員：光村図書なんですけど、先ほど説明にもあったように見開きの中で見通しから振り返りまで一つにまとめられている。進めやすいなと思いました。それから、巻末の「資料の図を使って考えよう」など、工夫がされていて、また「学習を広げよう」といったところも、見通しを持つとうということから、「とらえよう、まとめよう、最後に振り返り」になっているんですけど、そういった進め方がちょうど柏原市で進められようとしている、言語活動の充実に合わせているのではないかなと思います。また「主体的に学ぶ力を育もうとする力」に適しているのではないかなと思います。

続いて、東京書籍なんですけども、こちらの方も国語の学習の進め方、あるいは学習の流れがはじめに書いてあるので進めやすいなと思います。学習ノートの作り方も、めあて、

まとめ等わかりやすい表現になっています。

新子教育長：はい、ありがとうございます。近藤委員お願いします。

近藤委員：東京書籍、表題文のはじめに「見通す」が見開きページであるのが分かりやすいと思いました。情報のとびらや言葉のページにキャラクターのはてなや、ことはの掛け合いがあって理解がしやすくなっています。教育出版、学年のはじめには、新しい仲間と馴染むきっかけになる活動から入るようになっていきます。1年生のクマさんとアリスさんのご挨拶では、字の大きさに変化がつけてあり楽しく読む様子が想像できます。5、6年生で分冊になっているのは軽くなってありがたいと思います。

光村図書、1冊1冊につけられたタイトルに合わせた、きれいな本の装丁や最初のページの詩が、感性を豊かにしてくれそうです。季節ごとに出てくる季節の言葉では、写真とともに季節ならではの言葉の紹介があり日本語の良さを感じます。教材終わりの学習が詳しくて親切です。低学年では、特に太めのフォントが見やすく感じます。本読みがしやすそうです。「たぬきの糸車」で、うちの子供がきーくるくるきーからからと楽しそうに本読みをしていたのを思い出します。現在使われている光村図書が良いのではないかなと考えます。

新子教育長：ありがとうございます。西村委員お願いします。

西村委員：まず東書さんですけども、QRコードがわりとうまく配置されていて、とても利用しやすいと思いました。後で復習するのに良さそうでした。ノートの取り方がわかりやすく書いてあって、学年が上がれば上がるほど、たくさんの情報を取りやすいと言う点では、ノートの取り方がちゃんと視覚的にある方が勉強としてはわかりやすいのかなと思いました。コロナの注意書きは、私もいらぬのかなと思いました。

教育出版ですけども、巻頭が学校生活で始まるのが、ちょっと他の出版社と違ってちょっと硬いイメージがあって、国語の教科書ならもう少し詩であるとか、イメージ的なものが入っている方が楽しいのかな、ちょっと硬いイメージがありました。全体的に昔からある教科という感じがして、読み書きが重視されているように思いました。だんだん学年が上がると説明文が増えてくるんですけども、まず最初に簡単な説明文で何をポイントにするのかというのが見開きページにあってから、次にいよいよ上文があると言うように、準備段階があるのがとても良いかなと思いました。

光村図書さんは全体的に色目も抑え目で見やすいと思いました。「大きなかぶ」が、それぞれ小1で載っているのですが、光村さんだけ、「かぶをおばあさんが」というふうに助詞のひっくり返しがあるので、助詞に着目をさせているのかなと思っていたのですが、そういう国語的なところもねらっているのではないかなと思います。学年が上がればそれぞれ習った技術を、3年生だったら話し合いとか、考えることで発展させて、5年生になると情報を多く、深く扱って主張と根拠を持って相手に伝えると言うことが、教科書1年生から6年生を通して見ていく中での流れとしても、非常にうまく収められていると思いました。巻末の「考えよう」は大人にも役立つ内容で、私も非常に勉強になりました。全体的に国語の内容として盛りだくさんで、お話もたくさん載っていて、光村図書が良いのではないかなと感じました。

新子教育長：ありがとうございます。太田委員お願いします。

太田委員：東京書籍さんです。学習の進め方やノート、デジタルノートの作り方の説明があつて、子どもたちの理解につながるかなと思いました。5年生で「新聞記事を読み比べよう」というのがあるんですけども、非常に構成や内容がわかりやすく、他の教科書に比べて分かりやすいという印象を受けました。デジタルコンテンツなども充実していると感じました。

教育出版さんです。全学年、1年生から6年生までを通しての「書く内容」を比べてみると、大阪府の資料では、3者ともそれほど変わらないのですが、教科書を見たときに、1年生の教科書で教育出版さんは、文字を書くことについての内容がたくさんあるな、という印象を受けました。その分文章を読む内容が少し少ないのかなあ、という印象を受けています。あと、どの学年にも各学年で学ぶことがあるんですけども、4年生でも4年生で学ぶことというのが出だして出てくるんですけども、4年生なら4ページですけども、子どもが読むには、文字が小さくて非常に見づらいなという印象を受けます。5年生と6年生の教科書が上下に分かれているのは、非常に良いのかなと思いました。光村図書さんです。1年生の下で読んでみると結構文章がしっかり載っているので、子どもたちの読解力の育成には、まず文章を読むというのがすごく大切な内容だと感じました。

光村図書さんの編集、推奨のスタンス、「確かな言葉の力を育む」とか、「自ら学ぼうとする姿勢を育む」「今日の学びを明日につなぐ」という点が、柏原市の言語活動の充実や読解力の育成についてはマッチしているのではないかと、いうふうに思います。前の学年で学んだこと、今から学ぶことなどが、巻頭で整理されているので、子どもたちにわかりやすいというふうに思います。5年生で指文字や点字があるのも、多様性に配慮されているなど感じる点でした。私も国語は光村図書が学びやすいのではないかなと感じました。

新子教育長：ありがとうございます。これはもう皆さんのご意見で光村でよろしいですか。

委員全員：はい。

新子教育長：では、国語は光村図書でお願いします。続きまして、書写、菰池指導主事お願いします。

菰池指導主事：それでは、書写について説明いたします。書写につきましては、東京書籍、教育出版、光村図書の3者でございます。

まず、「目標、内容の取扱い」についてです。大阪府の選定資料には、3者とも「各学年で適切な指導内容が取りあげられている」と書かれています。

次に「人権の取扱い」についてです。東京書籍「新しい書写六」53ページをご覧ください。調査員からは「6年に『文字にこめた思い』があり、障害がある方が書いた作品や思いの込められた手紙や文字を知る機会が設定されている」という報告が上がっています。教育出版については、調査員からは「6年の『好きな言葉を書く』ではSDGsに関わる言葉が取り上げられている」という報告が上がっています。光村図書「四年書写」21ページをご覧ください。調査員からは「4年に『SDGsブックがあり、SDGsについての理解を深めるページが用意されている』という報告が上がっています。

次に「発達段階への考慮」です。教育出版「しょうがくしょしゃーねん」6、7ページ

をご覧ください。調査員からは「1年で、『鉛筆の持ち方』について、見開きを使い、かなり丁寧に取上げられている」という報告が上がっています。光村図書「一ねんしょしゃ」6、7ページをご覧ください。調査員からは「ぺったん、ぴん、ぐう」といった正しい姿勢の合言葉や、鉛筆の正しい持ち方についてのかんたんな歌が紹介されており、低学年の児童にも意識づけがしやすくなっている」という報告が上がっています。

次に「組織・配列」についてです。学校からは3者とも「毛筆につながる水書きの用紙がついている」という意見が上がっています。

次に「学び方の工夫」についてです。東京書籍「新しいしょしゃ二」38、39ページをご覧ください。調査員からは「『気をつけることを1つ選んで書いてみよう』と主体的な学びを意識した呼びかけがある」という報告が上がっています。教育出版「小学書写五年」30～33ページをご覧ください。部会からは「いろんなペンの紹介があり、使い方やポスター、レイアウトの例があり、筆に限らない発展的な授業ができる」という意見があります。光村図書については、調査員からは「『たいせつ』として、文字を整えて書くためのポイントがわかりやすくまとめられている」という報告が上がっています。

次に「補充的な学習・発展的な学習」についてです。東京書籍「新しい書写五」10～21ページをご覧ください。部会からは「硬筆の練習をする欄が、テーマごとに配列されている」という意見が上がっています。光村図書「二年しょしゃ」2、3ページをご覧ください。調査員からは「学習前に取り組む『書写体操』や学習後に行う『整理体操』について、QRコードから動画を見ることができ、動画は実際の授業で子どもたちと一緒に取り組みやすいものに編集されており、扱いやすい」という報告が上がっています。

次に「幼小中一貫教育の観点」についてです。調査員からは3者とも「1年のはじめに文字への興味を高め、書くことへの意欲を高める工夫がされている」という趣旨の報告が上がっています。

最後に選定委員会の審議について報告いたします。選定委員会では、毛筆の扱う文字の順番等書道の入門には良いことと、「とめ」を意識できる「下」という文字を最初に扱っている等、配列の良さという観点から、東京書籍が柏原市の教育にあっているのではないかという意見が出ました。

また、光村図書については、書く姿勢のところで紙のおさえ方とタブレットを使う姿勢についても載っていて良いという意見が出ました。以上で書写についての説明を終わります。

新子教育長：ありがとうございます。いかがでしょうか。田中委員お願いします。

田中委員：今の説明にもあったんですけども、東京書籍と光村がどちらもいいかなというふうに思います。ちょっと甲乙つけがたいところもあるんですけど。どちらのほうも書く時の姿勢とか、あるいは筆運びですね、非常に丁寧に指導されている。特に光村の方は書写体操ですかね、これがしっかり書かれていると。東書も書写体操も書かれている。教出はそれが無いんで、その2者のどちらかかなという思いがしています。東書の方はみつけよう、たしかめよう、というところがわかりやすいというところ。光村につきましては、筆の振り方が丁寧になっているというところ。それから、6年の書写ブッ

ク、これもいいかなというふうに思っております。どちらも同じくらいだったというふうに思っています。以上です。

新子教育長：はい、ありがとうございます。近藤委員お願いします。

近藤委員：教育出版は先程の説明にもありましたが、鉛筆の持ち方が分かりやすく丁寧でした。各学年、葉書き、手紙を書くページが充実していました。光村図書。猫での書き方や文字の表現が楽しく、イメージが湧きやすいです。毛筆のお手本が数多く載っていました。6年生最後の私の文字のページでは、子どもたちになじみのある人たちの字が載せられていて、手書きの良さが伝わります。東京書籍。1年生では、書き込み式の筆運びの練習がたくさんあります。大事なポイントが書いてある書写のかぎでは、重要な語句が色違いになっていて、書く時に覚えて取組みやすいようになっていました。字形や配列等、比べて考えるページが多くあり、理解しやすそうです。低学年では、イラストでの表現がバラエティがあって、楽しくわかりやすいです。書道の動画では、最初にポイントを言ってくれます。東京書籍が使いやすいそうに感じています。以上です。

新子教育長：はい、ありがとうございます。西村委員お願いします。

西村委員：教育出版さんは、イラストが多くて比較的にわかりやすいと思いましたが、少し多すぎるかなというふうに感じました。東書さんは、左手の持ち方も書いてあって、写真も大きくて見やすく、他の光村さんなどにももちろん載ってはいるんですけども、ほぼ全ページの中で半分程、左手の使い方があるのがとてもいいなと思いました。先程の毛筆のお手本も東書さんが下から入るのが、他の教科書とは違うところは、教え方としては一番なじみやすいのかな、簡単などころから入っているかなというふうに思いました。光村さんは、国語の教科書と同じで、この方が望ましいのかなという考え方もあるんですけども、あと毛筆のお手本がシンプルでわかりやすいとも感じましたし、6年生で、ユニバーサルデザインで左手用の定規のことなど情報がたくさんあるので、書写できれいに書くということもそうですけれども、書くことが好きになるというか、書くことが積極的になるという題材も盛り込んであるいい教科書だなというようにも感じましたので、光村もいいんじゃないかなと思いました。

新子教育長：はい、ありがとうございます。太田委員お願いします。

太田委員：教育出版さんですけども、1年生たのしく書こうとか、イラストも上手く取り入れておられて、楽しく書けそうな感じがありました。ただ、文字をなぞる時の色分けが無いので、色分けがあった方がわかりやすいのかなという印象です。2年生に関して、10ページ12ページなんですけども、細かくて少しわかりにくいのかなと、教育出版さんの教科書は思いました。全体的に情報量が多くて、教育出版さん文字が小さくて見にくいのかなという印象です。それから光村図書さんですけども、2年生なんかの教科書を見ると書き順が分かりやすく構成されていて、非常に見やすくなっているかなと。先程も出てましたけども、3年生の毛筆についても説明がわかりやすく、毛筆に取組もうという意欲の向上にもつながると思いました。書写の手本が全体的にどの学年も光村図書はわかりやすくできているのかなと。書く楽しさや達成感が感じられるというコンセプトで作られているということなんですけども、わかりやすいのかなと。学ん

だことが日常に生きるっていうことも大切だろうと。書写を楽しもうという教科書のつくりになっているというのは光村図書さんはすごくいいのかなと思いました。

東京書籍さんですけども、1年生で文字を指でなぞる時に色分けがされていて、すごく分かりやすくできてるのかなというふうに思いました。東京書籍さんですけども、2年生でもあるんですけども、見開きのところ、ページをめくるとおかしな看板というのが出てくるんですけども、ちゃんと字を書かないと、ということだと思うんですけども、実際にこういう看板、街ではないやろうなと思いつつながら。子どもたちはそういうところをうまくこんな書いたらおかしいと思って意欲が向上するのか、こんな看板無いわというふうにとるのか、ちょっと微妙なのかなと思いました。それと同じく5年生の新しい書写の東京書籍さんの出だしですね。見開きのところ1ページになるのかな。ですけども、おかしなバースデーカードっていうのがあって、これも意図はわかるんですけども、2人の登場人物が出てきて、はるかちゃんの誕生日なんですよね。わたし来週誕生日なのって。はるかちゃんに心を込めてバースデーカードを一生懸命この子は書きやったんですけども、はるかちゃんは誕生日おめでとうって書いてあるんやけども、なんて書いてあるのと問うと。こう書きたかったんだねって言って、バースデーカードをもらってこういうことになるのかなって。なったらあかんから書いてあるのかもしれないですけども、せっかく心を込めて書いたバースデーカードをなんて書いてあるのとは実際には言わないだろうと。サインペンで書いたんでしょうけど、わかりますよね。この意図がちょっとわかりにくいなという気はしましたね。バースデーカードをせっかく書いているのにそれを否定するようなことをするのかってというのは結構引っかけたので。トータルで言うと教育出版さんは情報量が多いのかなと。東京書籍さんはさっきの点でちょっと引っかけがあるんで、私は3者比較したら光村図書がいいのかなというふうに思いました。

新子教育長：はい、ありがとうございます。なかなか聞いていたら、東書さんも光村さんもどっちかなと、こちらでも判断し兼ねるところなんですけども。どうでしょう、東書さんがと思われる方（近藤委員挙手）。光村さんと思われる方。

太田委員：私は光村かと（田中委員、西村委員が続いて挙手）

新子教育長：そうでしたら、光村図書でお願いします。多数決で申し訳無いですけども。ありがとうございます。続きまして外国語です。片岡指導主事、お願いします。

片岡指導主事：それでは、外国語について説明いたします。外国語につきましては、東京書籍、開隆堂、三省堂、教育出版、光村図書、啓林館の6者でございます。

まず、「目標、内容の取扱い」についてです。各者とも、言語や文化に対する理解を通して、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図る内容が取り上げられています。東京書籍では、大阪府の選定資料には、「言語や文化を理解する内容が適切に取り上げられている」と書かれています。同じく、東京書籍6年生60ページをご覧ください。調査員から「自分の国のことや、SDGsや環境についてなど日本語でも考えていく内容になっている」という報告が上がっています。開隆堂では、学校から「対話（キャッチフレーズ）がよく出ている。コミュニケーションを大切にしている教科書だと感じた」という意見があります。同じく開隆堂6年生25ページの右下をご覧ください。調査員から「他の教科



との関連が分かるように、図、社、家などの教科のマークが入っている」という報告が上がっています。

次に「人権の取扱い」についてです。各者とも、教材内容や文章、写真、挿絵、図、資料などが、人権尊重の観点から配慮されたものとなっています。教育出版5年生87ページをご覧ください。調査員から「アメリカの手話が紹介されている」という報告が上がっています。啓林館6年生78ページをご覧ください。調査員から「外国の文化の紹介が多い」という報告が上がっています。

次に「発達段階への考慮」です。各者とも、児童の発達段階を考慮し、興味・感心のある題材を取り入れられています。また、新出言語材料の分量や提示の仕方についても、別冊や巻末の資料とリンクした形となっています。光村図書では、調査員から「チャンツには字幕がでて、読んでいるところもわかるようになっている」という報告が上がっています。三省堂6年生82ページと87ページをご覧ください。調査員から「書く活動で難しい単語などをイラストやカードで置き換えることが可能である」という報告が上がっています。

次に「組織・配列」についてです。各者とも、目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されています。教育出版では、調査員から「展開がまとまっていてわかりやすい」という報告が上がっています。三省堂6年生4ページ・5ページをご覧ください。調査員から「どの単元も3段階(Hop→Step→Jump)になっている」という報告があがっています。同じく三省堂では、学校から「ユニットの構成の説明がわかりやすい」という意見があります。開隆堂6年生128ページをご覧ください。調査員から「CAN-DO チェック表が巻末についている」という報告が上がっています。

次に「学び方の工夫」についてです。各者とも、英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、主体的、対話的で深い学びが実現するよう工夫されています。光村図書5年生8ページをご覧ください。部会から「Can-Do List がわかりやすい」という意見があります。三省堂では、調査員から「デジタル教科書で、絵の画面をタッチしたら単語の音声が出る」という報告が上がっています。

次に「補充的な学習・発展的な学習」についてです。各者とも、学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを実際のコミュニケーションに活用したりすることができるよう配慮されています。啓林館では、部会から「Writing の練習が多いので、中学校への学習に繋がると感じた」という意見があります。東京書籍では、学校から「別冊 My Picture Dictionary がある」という意見があります。

次に「幼小中一貫教育の観点」についてです。各者とも、中学校での英語学習にスムーズに移行できるような内容が取り入れられています。開隆堂では、調査員から「中学校での使用教科書と同じ会社の教科書で、つながりやすいと考える」という報告が上がっています。三省堂では、調査員から「4線の幅が割と均一である」という報告が上がっています。

最後に、選定委員会の審議について報告します。まず、東京書籍は日本語から英文を考えさせる形式になっているという意見や、日本語を書かせる量が多いことが負担になるという意見がありました。次に、開隆堂はコミュニケーションを通して授業を進めていく形式となっており、柏原の教育にあっているのではないかという意見が出ました。また、デジタル教科書が整備されていたり、文字や単語のフォントが見やすかったりするという意見もありました。次に、三省堂は内容やバリエーションが豊富で広がりがあるという意見がありました。このことから、英語が得意な先生は三省堂が扱いやすいかもしれないという意見もありました。次に、教育出版のデジタル教科書は自分の声を録音できる特徴があるという意見がありました。次に、光村図書は2線と3線の幅が広く、書くことが難しい児童にとって書きやすいのでは、という意見がありました。次に、啓林館は単語や日本語の文字が小さく、見づらいという意見がありました。以上で外国語についての説明を終わります。

新子教育長：はい、ありがとうございます。6社ございましたが、田中委員お願いします。

田中委員：それぞれの会社工夫されているんですけども、辞書というか、それぞれ名前が違いうんですけども、巻末に入っている出版社もあるし、別冊になっているところもあるんですけど、やっぱり別冊が教科書と併用しながら使いやすいかなという風に思います。それでいきますと3社、東書開隆堂三省堂というところになるのかなと思います。その中でも開隆堂、CAN-DO チェック表とかコミュニケーションが多くて、特に英語で考えるところがあって、東書と若干違い、東書の方は日本語からとなっていて、その辺が少し差があるかなと思いました。三省堂もホップステップジャンプとかデジタル教材、巻末カードも充実しているところもあって、がんばっておられるかなという風に思います。以上です。

新子教育長：はい、ありがとうございます。近藤委員お願いします。

近藤委員：東京書籍。書き込んで使えるようになっていきます。別冊辞書が1冊なので、多くの単語が載っていて使いやすいそうです。デジタルコンテンツがよくできていました。コンテンツは動画が凝っていて楽しいのですが、ちょっと長く感じました。

光村図書。別冊の辞書は教科書に挟み込んであるので、なくしづらいのが良いです。本の始めに「いつもたいせつ」として、「笑顔」や「目と目をあわせて」などあり、コミュニケーションに重きを置いた内容になっています。そのためか、出てくる絵や写真の子どもたちの表情が豊かなのが印象的です。世界の友だちのコーナーがあり、動画では本人が現地から話をしてくれ、生活の様子や文化がよく分かります。

開隆堂。始めに復習の会話やクラスルームイングリッシュがあり、積極的に話す助けになりそうです。レッスンのマークが目につきやすく、フォントもくっきりとしていて見やすいです。デジタルでは、歌やコンテンツが内容にあったアニメが楽しいです。イントロが短いので、動画の長さがちょうど良いです。辞書部分では、単語をタップするとすぐ読み上げてくれたり、デジタルが使い勝手が良いと感じました。以上の3つがふさわしいかなと考えています。

新子教育長：はい、ありがとうございます。西村委員お願いします。

西村委員：それぞれ6社で、他の教科もそうですが、でも英語が特に教科書によってまったく違うなという印象があって、非常に難しかったです。開隆堂さんは、目次に1年間で学ぶことの見通しがわかりやすく書いてありました。進め方はどちらかというところからじっくりしている印象がありましたけど、このあたりは読み書きというよりも、コミュニケーションを通して進めていくというところで、英語学習というものの入口にはとても良いようにと思いました。

東書さんは文章がちょっと多めにも思いましたが、枠の中にきちんとおさめてあるので、決して見づらいわけではありませんでしたし、何をテーマにしているかわかりやすいのもありました。

三省堂さんはホップステップジャンプで今何を単元に行っているのか、パターンの非常にわかりやすかったと思います。マイディクショナリーの別冊の単語が、4本線が割と均一になっているということですが、どちらかというときっちりしているのも、単語自体がちょっと見にくいなという風を感じました。

教育出版さんは教科書のサイズが小さめで軽いのは良いと思いますが、目次のタイトルが英語だけなので、分かりづらい子もいるかなという風に思いました。

光村図書さんは、動物の単元のところが、動物の気持ちを伝えるための文章を書こうという目的で、これは英語学習のなかで非常に難しそうですし、あいまいな印象がありました。啓林館は字が小さめですけどこちらも見にくいわけではなく、ただ、英語が得意な子にはとても発展的で楽しい内容かと思いました。英語学習を始めて中学生につなげるというところでは、開隆堂さんか三省堂さんが良いかなと思いました。

新子教育長：はい、ありがとうございます。太田委員をお願いします。

太田委員：東京書籍さんですけど、マイピクチャーディクショナリーが1冊になっているので、2年間使うことを意識されているのかなと思いましたけども、2冊あっても良いのかなという風に見てました。

開隆堂さんですけども、教科書のページ数が一番多いんですけど、学ぶ量がそれほど多いとは思わなかったの、内容的にはすごくまとまっているのかなという印象です。ワードブックも見やすいですし、自分で開いて学びやすくできているのかなと思います。1つの単元の内容が簡単にまとまっているし、先ほども出ていましたけども、巻末の CAN-DO チェック表が、子どもたちが上手く使えば自分の振り返りにも使えるという風を感じました。

三省堂さんは先ほども出ていましたが、ホップステップジャンプの構成がとても統一されていて良いのかなと。イラストカードも充実しているし、自学自習、自分で学習するにも、切り取って使えばとても良いのかなと思いました。

教育出版さんですけども、QRコードの部分がまだちょっと完成されていないので、これがちょっとわかりにくいな、まだどんな感じなのかわからないなという風に思いました。英語で思いを伝えようという、教科書をそういう思いで作っておられるのは良いのかなと思いました。

光村図書さんです。ページ数が結構多いんですけども、内容が簡単で、簡潔にしてあっ

て、聞く内容の割合も多く、ヒアリング中心になっているのかなという風に感じました。

啓林館さん、さきほども文字が小さくて、私はちょっと読みづらさを感じました。なので、開隆堂さんか東京書籍さんかという感じかなと思いました。以上です。

新子教育長：はい、ありがとうございます。ご意見うかがっておったのは開隆堂さん、一番はやっぱり小中一貫教育、英語ということを考えていけば、中学校とのつながり、教科書つながりというところからすれば、現場からも出てますように、開隆堂さんが良いのではないのかなという風に思いました。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

委員全員：はい。

新子教育長：はい、そしたら英語は開隆堂さんということをお願いします。それでは、続きまして保健でございます。政塾指導主事をお願いします。

政塾指導主事：それでは、保健について説明いたします。保健につきましては、東京書籍、大日本図書、大修館書店、文教社、光文書院、学研の6者でございます。

まず、「目標、内容」の取扱いについてです。東京書籍3・4年生の教科書19ページをご覧ください。調査員から「保健の内容について、系統性のある指導ができるよう知恵の輪のようなマークで、他学年の内容と関連を図れており分かりやすい」といった報告が上がっています。次に、学研3・4年生の教科書26ページをご覧ください。大阪府の選定資料では、「章末の『ふり返る・深める・つなぐ』では、自分の生活を振り返る記述式の問題が設定され、知識の定着を図ることのできる内容になっている」と書かれています。

次に「人権の取扱い」についてです。大修館書店3・4年生の教科書37ページをご覧ください。調査員からは「金子みすずの詩を紹介し、個人差は自分らしさであり、違いを認め合う大切さに触れている」との報告があがっています。次に大日本図書の5・6年生の教科書17ページをご覧ください。「児童の日常の中の出来事と関連させてジェンダーについて触れられている」との報告が調査員からあがっています。

次に「発達段階への考慮」についてです。光文書院は「各章の初めに身近な事例の4コマ漫画があり、その章の学習内容を学ぶ意義をストーリー形式で伝える形になっており、健康課題への自覚を持って学習に取り組めるようになっている。」と調査員と教科部会からあがっております。文教社は「写真やイラストが豊富に掲載されており、視覚的により詳しい理解ができるようになっている」と調査員からあがっております。

次に「組織・配列」についてです。東京書籍5・6年生の教科書13ページ、49ページをご覧ください。調査員からは「各項目の始りが全て見開きの右側にあるため、導入としては他の関連する情報に惑わされることなく進められる」という意見や「学習の流れが4ステップの流れで構成されており、主体的に学習できるようになっている」という意見があがっております。学研は、「1時間の流れを3つのピースで表し、それを完成させる流れで構成されているため、こちらも主体的な学習を進めやすい」との意見が調査員と教科部会と意見があがっております。

次に「学びの工夫」についてです。学研5・6年生の教科書21ページから23ページをご覧ください。「対処例が具体的で充実している。いじめのサインにも言及しておりよい」と調査員からあがっております。東京書籍は「はじめの見開きで保健の必要性やこれ

からの道筋が簡潔に記載されていてわかりやすく良い」との調査員から意見があがっております。

次に、「補充的な学習・発展的な学習」についてです。大修館書店5・6年生教科書73ページをご覧ください。「SDGsについて触れられており、自然環境を大切にする気持ちをもてる資料が示されている」と調査員からあがっております。大阪府の選定資料と教科部会から「資料として、もっと学びを広げよう！深めよう！まめ知識などがある。また、二次元コードから動画などのデジタルコンテンツが活用でき工夫されている」との意見が上がっております。

次に「幼小中一貫教育の観点」からです。文教社5・6年裏表紙をご覧ください。「アスリートから夢に向かってエピソードがあり、将来への希望で締めくくっている部分が良い」との意見が調査員から上がっております。学研「巻末でこれまでの保健の学習を振り返り、中学校での学習の展望を持てるようにしている。」との意見が調査員からあがっております。

最後に選定委員会の審議について報告いたします。選定委員会では、光文書院5・6年の教科書16ページから19ページをご覧ください。発展のひろげよう、ふかめようが見開きで見やすく、子どもたちが興味をもって読みそうである。次のページ、その他、人との距離感のとり方等が書かれた部分は今の子どもたちの実生活にあっている。という趣旨の意見がありました。他、大修館書店は、ふりかえりの部分では、記述と選択肢の割合が丁度よく、サッとふりかえれそうである。東京書籍は、学びを深め、広げやすそうである。という意見がありました。学研は、自ら初めに予想、考える→書き込む・ふりかえるの順が一定しておりシンプルで指導しやすそう。また、考えを書き込めるスペースも多く設けられておりワークシート等なしでも授業を進めれそうであるという調査報告の内容から学研が柏原市の教育にあっているのではないかという意見が出ました。以上で、保健についての説明を終わります。

新子教育長：はい、ありがとうございます。田中委員お願いします。

田中委員：記入する学びがあったら記入して、それで理解していくやり方が学研と東書の特徴かなと思います。どちらも全体的にわかりやすく説明しているところ、それから学研の方は「もっと知りたい、調べたい、ふりかえる、伝える、つなぐ」などまた、先程にも説明ありましたがいじめへの対応とかも理解しやすいということで2つ挙げたんですが、学研がふさわしいかと私は感じました。

新子教育長：ありがとうございます。近藤委員お願いします。

近藤委員：光文書院は先程も出ていましたが人との接し方とのページが詳しく載っていました。発展のページも充実していました。怪我の手当ての動画が丁寧でためになります。悩み用相談窓口がQRコードでさらに詳しく出てくるようになっていました。

学研、自分の事や考えを書き込みながらまとめていける方式でノートもいらずにあとからも見返しやすく学習しやすそうです。不安や悩みへの対処のページが詳しく載せられています。ページ下のプチ情報がなかなかよかったです。デジタルでは、119番通報の仕方がシュミレーションできるようになっていて、電話番号を押すところからできて本格的

でした。お酒、たばこの断り方などもありためになりそうでした。

東京書籍、出てくる子ども達にラウラさんや車椅子のたくやさんがいます。挿絵が優しい色合いのところもいいです。相談窓口の資料が大きく詳しいです。悩んでいるあなたへという国枝慎吾さんの語りかけがとても良かったです。以上の3者が相応しいのではないかと考えます。

新子教育長：はい、ありがとうございます。西村委員お願いします。

西村委員：光文さんですけども最初の導入から考えさせる内容になってスタートになっているとおもいました。流れから内容をつかんでいくところは、結論は見えているかも知れないけれども、子ども達にまずは考えるところで、まずは単元の導入のところは漫画で分かりやすかったり、心の発達に対しては他の教科書よりも理論的で分かりやすかったりとか、内容はかなりよい印象を受けました。広げよう深めようの話題が深すぎず適切な内容だと思いました。

学研では3、4年では性のこころの多様性を扱っているんですけども、言葉が優しくてわかりやすいと感じます。優しくてわかりやすいのと振り返り学習などはまとめなどで役立つと感じました。

東書さんは、記入するところが多くてこれだけで完結できるところもありますし、3、4年生の身長伸びについて、各個人差があるというグラフや図が出てくるんですけども、それが円グラフを使っているのがわかりやすいと思いました。

大修館さんは、5、6年の部分で出てきますけど、心と体のかかわりであるとか、不安と悩みの部分が非常に丁寧にかかれていて対処の仕方も多岐にわたっているので、非常にこの点に関しましてはいいと思いました。全体的なバランスを考えますと学研さんと光文さんがいいのではないかなと思いました。以上です。

新子教育長：はい、ありがとうございます。太田委員お願いします。

太田委員：東京書籍さんです。生活リズムのチェック表が児童にとっては生活へのつながりを感じられる内容になってるなと思いました。気付く・見つける・調べる・解決する・深める・伝える・まとめる・活かすという風になっているんですけども、子供たちの理解を深めるためにも、その構成がずっと続いているので児童も教員もわかりやすいのではないのでしょうか。表紙のイラストが、割とインパクトがあってもうパッと見た感じで多様性を大切にしているなと感じることが出来ます。書き込み欄も結構確保されているのでいいのかなと思いました。

大日本図書さんです。少し読む内容が多かったり、文字が小さかったりするので興味を引き付けにくい印象を受けました。追い込みカードなんかもあって学び意欲の工夫されているんですけども、児童にとっては使いにくいのかなという印象です。掴もう・考えよう・話し合おう・活かそうの工程で学びを深めていくというそこは、うまく工夫されているんですけども、先程もあつた少し読む量が多いのかなという印象が残りました。

大修館書店さんです。捉え方やと思うんですけども、生活の中の保健を探そうと最初の方に出てくるんですけども、図の中すべてが保健だと思うのですが、児童が興味をもって保健の理解に繋がるかというのはちょっと難しいのかなという印象を受けます。金子みす

ずさんの詩、印象に残ってこれはすごくいいなと思いました。有名人の写真と説明が随所に出てくるので、児童も親しみやすく学ぶ意識の向上につながるのかなとおもいます。あわせて5、6年生のやってみよう、なんかは学ぶ意欲の向上にもつながるのかなという印象です。教科書に直接書き込めたり、チェックできるようになっているので、使い勝手がいいのかなというふうに思いましたし、資料もっと学びを広げよう深めようがより生活に繋がる内容で発展的学びに広がっていくのかなと期待されると思います。

文教社さんです。まず表紙で写真を使っておられるんですけども、印象なんですけども、子ども達があんまり笑っているように見えない。最初に手にとった印象は大事ななと思いました。4年生でどの教科書もそうなんですけど、射精や月経について扱っているんですけども、分かりやすく文教社さんは扱ってるんですけども、文字が細かくて読みづらく構成が分かりにくいなという印象です。

光文書院さんです。見開きから文字が多くて小さいのかなと、書き込み欄が他の教科書に比べてちょっと少ないという印象です。全体的にそうなんですけど、見つけよう・調べよう・考えよう・話し合おう・活かそうという構成で理解が深まるようになっているんですけども、全体的に文字は小さくて理解はどうなのかな、という印象を受けました。

学研さんです。対処や配列が見やすく1時間に3つのピースに構成されているということが児童にとって分かりやすく、学びやすいと感じました。話し合いを積極的に授業に取り入れることが出来るような構成になっている点もいいと思います。学研さんも書き込み欄が結構多いので、子ども達に考えさせるような教科書になっているのかな。書き込み欄にも線が書いてあって、一定文字の書く量とか子ども達の目安になっているのかなと思いました。

全体的には学研さんか東京書籍さんか大修館書店さんなのかなと、その3つのどれかなとという印象をうけています。

新子教育長：はい、ありがとうございます。大体共通して出てくる名前ですが、学研さん、大修館、光文書院さん。学研さんの方は巻末の学習を振り返って中学校へつなげられるようなものであるということと、中学校小中一貫ということ言えば教科書つながりというところも考えられますし、決めかねるんですけど、学研さんでいかがですか。

委員全員：はい。

新子教育長：ありがとうございました。それでは学研という事でよろしく願いいたします。2日間に渡り、長時間ありがとうございました。11教科13種目の教科書について、審議を終えることができました。小室課長からよろしくお願いします。

小室課長：はい。それでは、まず、本日の審議により採択された教科書について、確認いたします。生活、啓林館。理科、啓林館。国語、光村図書。書写、光村図書。英語、開隆堂。保健、学研。続きまして、先週の審議により採択された教科書の確認でございます。算数、東京書籍。図工、日本文教出版。地図、帝国書院。社会、日本文教出版。家庭、東京書籍。音楽、教育出版。道徳、東京書籍。以上で間違いはないでしょうか。

委員全員：はい。

小室指導課長：ありがとうございました。以上でございます。

新子教育長：はい。ありがとうございます。それでは、議案第28号令和6年度柏原市立小学校使用教科用図書の採択についての議事を終了いたします。以上で第1回臨時教育委員会会議を閉会いたします。

本教育委員会会議の議事の経過に相違ないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

柏原市教育委員